

(別添様式3)

研究機関名：国立大学法人広島大学

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の人件費支出に係る
活用実績報告書（令和6年度）

1. 実施状況

①事業名	②直接経費から人件費を支出した、所属PIの人数（人）	③所属するPIについて、直接経費から支出した人件費の総額（円）	④所属するPIについて、直接経費から人件費を支出したことにより確保した財源の総額（円）
AMED 革新的がん医療実用化研究事業	2	2,100,000	2,100,000
AMED 認知症研究開発事業	1	135,333	135,333
AMED 脳神経科学統合プログラム	3	1,615,500	1,615,500
AMED 臨床研究・治験推進研究事業	2	3,956,000	3,956,000
AMED 難治性疾患実用化研究事業	2	1,995,000	1,995,000
AMED スマートバイオ創薬等研究支援事業	1	990,000	990,000
AMED ワクチン・新規モダリティ研究開発事業	1	228,000	228,000
ERCA 環境研究総合推進費	1	2,214,000	2,214,000
JST ムーンショット型研究開発事業	2	2,015,500	2,015,500
JST 研究成果展開事業	4	6,075,000	6,075,000
JST 戦略的創造研究推進事業さきがけ	4	3,779,000	3,779,000
JST 創発的研究支援事業	8	4,978,000	4,978,000
JST 未来社会創造事業	2	2,876,000	2,876,000
NEDO 先導研究プログラム	1	720,000	720,000
NEDO 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）	4	6,042,000	6,042,000
NEDO 太陽光発電主力電源化推進技術開発	1	1,440,000	1,440,000
合計	39	41,159,333	41,159,333

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

研究者に対して、直接経費から支出した人件費を給与水準の向上のために使用し、当該研究者の処遇改善、モチベーションの向上に寄与した。

その効果として、当該研究の研究意欲向上を図り、当該研究者が安定して研究に専念できる環境が整備され、本年度の研究成果の進展に大きく寄与した。

3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/pi>